



徳島県東部処分場の視察

令和8年
第2回
定例会

contents

町政に対する一般質問 2
常任委員会・特別委員会
委員長レポート 5
全員協議会報告 7

議会活動報告 8
令和8年度議長副議長研修会
その他 10



町政に対する 一般質問

令和8年第2回定例会を、6月5日から19日にかけて開催しました。
2日目に当たる6月8日には、「町政に対する一般質問」を行い、5名の議員が質問しました。
なお、「議会だより」への掲載は、質問を行った順となっています。



松茂町議会
会議録
ホームページ



※今回から、質問・答弁とも要旨のみを掲載します。ホームページの会議録には、全文を記載しています。
全文をご覧になりたい場合は、ホームページをご覧ください。

がん患者の「外見ケア」を支える費用助成制度について

問 購入費用の助成について

【答】 がん患者が補整具を購入した場合にその費用の一部を補助する「医療用補整具購入費補助事業」を今年度開始した県の補助事業を受け、7月から実施したいと考えています。

対象は、松茂町民で、がん治療に伴う外見変化に対応するため補整具を購入された方です。対象の補整具は、①医療用ウィッグ・毛付き帽子②胸部補整具③エビテーゼ（外観を補う人工乳房などシリコン等製補整具）で、補助金額は、①③の区分ごとにそれぞれ3万円が上限です。

ごみの減量やリサイクルの推進について

問 「エコステーション」の設置は

【答】 他自治体で、資源ごみを持ち込むステーションの設置がなされていますが、その主な理由は、自治体面積が広域でごみ処理施設までの距離が遠く、持ち込む際の不便さが要因の一つと考えられます。本町は、第二環境センターから最も遠い距離でも約5km程度で、持ち込みへの支障はないと考えます。



板東 絹代議員

資源ごみは第二環境センターで、平日午前8時30分～午後4時まで受付。古紙等は「紙の日」以外も、処理を委託している古紙センターに持ち込み可能です。これから、本町の資源ごみの持ち込みは、適切な対応が出来ていると考えています。

問 資源ごみの分別を分かりやすく広報するには

【答】 家庭ごみについては広報まつしげや防災無線で分別の仕方などを広報していますが、今後は、資源ごみがどのようにリサイクルされているかなどを含めた広報も行い、町民の資源ごみに対する意識向上に努めてまいります。

問 啓発活動は

【答】 自治会や各種団体から依頼があった場合に、集会所等でごみに関する説明会を開催しております。各種団体の見学や町内小学校4年生の社会科見学の際に、施設の仕組みやごみ処理の現状などを説明し啓発活動に努めています。

火葬場の建設について

問 火葬場の件に課題を感じているか

答 高齢化に伴い国内では2040年頃、死亡者数がピークと言われています。火葬場のない本町は、町外を利用しており、今後も需要増加が想定される中、町民の利便性・負担の面で課題があると認識しています。

問 火葬場の建設について

答 次の複合的な課題から、現時点で建設する考えは持っていません。

①住民の合意形成の困難さ…施設の特性上、場所選定に慎重な配慮が求められる、地域住民の理解と合意が不可欠ですが、建設計画のある自治体の多くが直面する問題で、本町でも理解を得るのは困難と考えます。

②財政負担の大きさ…建設には多額の初期投資と運営維持費が発生し財政面で大きな負担を生じます。他自治体の公募資料に事業費上限額32億円とあり、本町財政規模から将来的に大きな負担を残すと想定されます。

③人口減少と将来需要…建設には多くが計画から完成までに10年以上を要し、すぐ着手しても完成は死亡者数のピーク期となり、その後は死亡者の減少が想定され、安定的な運営や採算性に課題があると考えます。



尾野 浩士 議員

④既存施設活用の可能性…現在周辺自治体の火葬場を利用しており、今後も継続利用が可能であれば、その方が合理的であると判断しています。

町民に過大な負担とならないよう、周辺自治体と連携を図り、現行の仕組みが円滑に機能するよう、引き続き対応してまいります。

再問 火葬料助成金の見直しについて

答 本町では平成28年から火葬料の一部を助成しています。対象は町民が亡くなられた際に火葬料を負担した方で、助成額は大人が上限3万円、子ども・死産が上限1・5万円、公立火葬場はその設置市町村の住民料金との差額の1/2、民営火葬場は支払額の1/2です。

近隣市町と比較すると踏み込んだ内容ですが、物価高騰が続く中、更なる負担軽減は必要と考えます。助成率1/2は現行のまま、今後時期を見て上限額を撤廃し、助成額の増額につなげ、火葬料の値上がりがあった場合も連動して助成額も上がる仕組みとします。

松茂町役場のDX推進と住民のデジタル格差対策について

問 職員のDX人材育成案の具体化

答 本町では、総務課電算担当職員が、県の実施する研修に随時参加し、基本的なDXに関する知識やスキルの習得を進めておりますが、役場全体での計画的な人材育成の体制整備には至っておりません。

今後、DX人材育成のため、職員一人ひとりがDXに関する基礎知識を習得できるよう、全国の事例や最新技術を学ぶことのできるオンライン研修等、様々な研修を受講できる体制を確保し、計画的な受講を促して参ります。

問 スマートフォンを活用した窓口サービス

答 本町では今年度、デジタル化施策の一環として、申請書作成支援システム、いわゆる書かない窓口を導入します。

スマートフォンを活用した窓口サービスについては、マイナンバーを利用した転出時の手続き、税金等のキャッシュレス決済などの他、今年度からは、スマートフォンでの町税等の口座振替手続きが可能となる「ウェブ口座振替受付サービス」がスタートします。今後、地方公共団体情報システム標準化



金森恵美子 議員

を念頭に、国の動向等を注視し、各種サービスの導入について研究して参ります。

松茂町くらし応援商品券配布について

問 どのような発送の仕様だったのか

答 「松茂町くらし応援商品券」事業における、封入・封緘作業を含めた配達の委託期間は、件数が多い事と配達物が商品券という性質上、対面での引き渡しを必須としたため、再配達等の期間も考慮の上45日間と設定し、初回配達は4月24日に完了しております。このことから、地域によって配達日にばらつきがあったことは、一定、致し方なかったと考えております。

商品券の使用期限は10月31日までです。お忘れのないようご使用いただき、物価高騰対策への一助となれば幸いです。



特定防衛施設周辺整備調整交付金打ち切り後の具体的な影響

問 移動手段の制限(外出機会の減少)

答 「地域コミュニティバス運行事業」は、調整交付金を活用し運行しております。この事業は、今後高齢者人口がますます増加する中で必要な事業と考えておりますことから、運行本数の減少やルート短縮、利用料金の有料化は考えていません。

問 医療・福祉サービスの負担増

答 医療・福祉サービスのうち調整交付金を活用しているのは「子どもはぐくみ医療費助成事業」です。「子育てするなら松茂町」を実現するため、この事業をはじめ、すべての事業はこれまでどおり行います。財源が不足することで、医療・福祉サービスの縮小することはありません。

問 公共施設の利便性の低下

答 老人福祉センターや公民館については、これら施設の維持管理に調整交付金は活用していません。ご心配されている高齢者のみなさまの居場所としての役割、またそれに付随する取り組みは、これまでどおり実施いたします。

問 防災・安全面への不安



米田 利彦議員

答 道路の舗装や街路灯の維持管理については、一部の道路修繕等において調整交付金を活用していますが、今後も必要な道路や防犯灯の維持補修は適切に実施します。

再問 事業の見直しはあるのか

答 現時点では、個別の事業について見直しの検討はしておらず、これまでどおりの町民サービスを継続するため、財源確保に尽力するのみでございます。

再問 町独自の財源補填策は

答 調整交付金以外にも防衛省、及び他の省庁の補助メニューは様々あります。これから実施を予定している町の事業については、各種補助金の獲得に努めることはもちろん、ふるさと納税の推進、更には、新工業団地整備事業による将来的な税収の増など、あらゆる財源の確保に努めてまいります。それでも不足する場合には、全体の予算執行の中で調整し、これまでどおりの町民サービスを継続できるよう尽力いたします。

新工業団地の整備に伴う周辺地域の雨水対策について

問 雨水の貯留機能を持つ広大な甘藷畑への新工業団地整備後の雨水対策について

答 この土地は現在、甘藷畑として耕作されており、土地の状態が、農地(土壌)から工業用地(アスファルト舗装など)に転用されますと雨水を地中に浸透することが出来ないため、土地の浸水対策として排水ポンプを使用した排水処理をしなければならぬと考えております。本町は、各地域ごとに排水機場を設置しており、この地域は、環境センター西側にある豊久排水機場の集水エリアとなっております。



豊久排水機場

す。豊久排水機場には2つの排水処理施設があり、旧排水機場は昭和49年、新排水機場は昭和59年に建設されており、老朽化による機械設備の機能低下が懸念されることから、新工業団地整備の転換発足のタイミングで2つの施設を更新するべく現在、防衛省の補助を念頭に協議を重ねております。

新工業団地整備では、地元の方々にご心配をおかけする点もございますが、町といたしましては、新工業団地整備に合わせ、周辺のインフラ整備にも適正に取り組んでまいります。

再問 新工業団地の完成に間に合うのか

答 現在、排水機場更新におきましては、町と防衛省との間で協議を着実に進めております。現時点では、排水機場整備完成における時期を明確に答弁することは出来ませんが、新工業団地完成までに適正な排水処理が出来ますようポンプ更新も含めた施設整備に努めてまいります。



立井 武雄議員

令和8年第2回定例会において議決の結果、同意第3号、報告第1号～第3号、承認第2号（専決第2号～第4号）、議案第44号～第55号及び発議第2号並びに追加議案の議案第56号～第58号について、原案どおり可決しました。



●委員会付託案件以外で審査し、可決した議案

同意第3号 松茂町農業委員会の委員の任命について

報告第1号 令和7年度松茂町一般会計繰越明許費繰越計算について

報告第2号 令和7年度松茂町新工業団地特別会計繰越明許費繰越計算について

報告第3号 令和7年度松茂町水道特別会計継続費繰越計算について

発議第2号 議員派遣の件

議案第44号 動産の買入れについて（申請書作成支援システム機器）

議案第45号 動産の買入れについて（軽自動車タイプトイレカー）

議案第46号 松茂中学校体育館空調整備工事請負契約締結について

議案第47号 松茂小学校体育館空調整備工事請負契約締結について

議案第48号 喜来小学校体育館空調整備工事請負契約締結について

議案第49号 令和8年度広島ポンプ場耐震・耐津波対策工事委託に関する協定の締結について

議案第50号 笹木野ポンプ場 No.2 水中ポンプ更新工事委託に関する協定の締結について

●追加議案

議案第56号 松茂町老人福祉センター「松鶴苑」キュービクル移転改修工事請負契約締結について

議案第57号 松茂町歴史民俗資料館空調等改修工事請負契約締結について

議案第58号 松茂町学校給食センター空調設備改修工事（その1）請負契約締結について

物価上昇局面における税負担の調整のため地方税法等が令和8年3月31日に改正されたことに伴い専決処分を行ったもので、個人住民税の給与所得控除の見直しや固定資産税免税点の見直し等を行うものです。

専決第2号「松茂町税条例の一部を改正する条例」



総務常任委員長
村田 茂

総務常任委員会

※主な質疑応答

問 今回改正される固定資産税免税点の家屋、償却の見直しにより町としてはどのような影響を受けることになりますか。数字的に分かるようなものがあれば、教えてください。

答 今回の改正により、家屋については、新たに対象者32人が非課税となり、11万5千500円の減収見込み、償却については、新たに対象者24人が非課税となり、55万4千700円の減収見込みとなります。

専決第3号「松茂町国民健康保険 税条例の一部を改正する条例」

地方税法施行令等が令和8年3月31日に改正されたことに伴い専決処分を行ったもので、国民健康保険税課税限度額の引上げ及び低所得者層のための2割・5割軽減基準額見直しに係る改正を行うものです。

専決第4号「令和7年度松茂町一般会計補正予算（第9号）所管分」

既定の歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ6千256万7千円を減額し、補正後の予算の総額を78億8千841万1千円とするものです。

この補正予算は、令和7年度における事務事業の確定による歳入の増減と歳出の不用額を減額するとともに、歳入の増額分と歳出の不用額を財政調整基金等に積み立てるものです。

議案第54号「令和8年度松茂町一般会計補正予算（第1号）所管分」

既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1億4千585万7千円を追加し、補正後の予算の総額を88億4千585万7千

円とするものです。

歳入の主なものといたしましては、今年度策定する「津波避難計画改定及び南海トラフ臨時情報対応方針」の財源として500万円を計上し、歳出の主なものといたしましては、新工業団地特別会計操出金9千900万円の計上がありました。

産業建設常任委員会



産業建設常任委員長
鎌田 寛司

専決第4号「令和7年度松茂町一般会計補正予算（第9号）所管分」

既定の歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ6千256万7千円を減額し、補正後の予算の総額を78億8千841万1千円とするものです。

この補正予算は、令和7年度における事務事業の確定による歳入の増減と歳出の不用額を減額するものです。

議案第52号「松茂町営住宅の設置

及び管理に関する条例の一部を改正する条例」

議案第53号「松茂町特定公共賃貸住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例」

この議案2件は、町営住宅及び特定公共賃貸住宅に入居する際、必要としていた連帯保証人について、2名だったものが1名になる等の改正を行うものです。

※主な質疑応答

問 連帯保証人の改正をする際、保証人の資格要件に民間の保証会社を対象とするか検討をしましたか。

答 県営住宅も含めた県内の他の公営住宅を調査しましたが、民間の法人を対象としている自治体が多かったことから、対象としませんでした。

議案第54号「令和8年度松茂町一般会計補正予算（第1号）所管分」

既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1億4千585万7千円を追加し、補正後の予算の総額を88億4千585万7千円とするものです。

そのうち、当委員会所管分とし

て、歳入の県補助金と歳出の農業振興費とともに「とくしま農山漁村未来投資事業補助金」を3千700万円、増額補正するものです。

教育民生常任委員会



教育民生常任委員長
尾野 浩士

専決第4号「令和7年度松茂町一般会計補正予算（第9号）所管分」

既定の歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ6千256万7千円を減額し、補正後の予算の総額を78億8千841万1千円とするものです。

この補正予算は、令和7年度における事務事業の確定による、歳入の国県支出金等の増減と歳出の不用額を減額するものです。

議案第51号「松茂町印鑑条例の一部を改正する条例」

出入国管理及び難民認定法等が一部改正され、マイナンバーカードと一体化した特定在留カード及

び特定特別永住者証明書の運用が開始されることに伴い、所要の改正を行うものです。

議案第54号「令和8年度松茂町一般会計補正予算（第1号）所管分」

既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1億4千585万7千円を追加し、補正後の予算の総額を88億4千585万7千円とするものです。

そのうち、当委員会所管分は、歳出に「医療用補整具購入費補助金」30万円の増額補正と、その財源として、歳入に県補助金15万円の増額補正をするものです。

※主な質疑応答 問 補助金の申請をするために、何が必要ですか。

答 松茂町の住民で、これまでにガンの治療を受けた方が、4月以降に補整具を購入した場合に対象となり、ガン治療を受けたことが分かる書類、例えば病院の診療証明書やガン治療に係る説明書などがあれば申請できます。



新工業団地特別委員会



新工業団地特別委員長
米田 利彦

議案第55号「令和8年度松茂町新工業団地特別会計補正予算（第1号）」

既定の歳入歳出予算の総額は増減なしとし、歳入歳出それぞれ3億5千29万1千円とするものです。

これは、契約後、早期に前金払いをする必要があることから、歳入において一般会計繰入金を9千900万円増額補正し、町債で同額を減額補正するものです。

その他

通常なら転用が困難な規模の農地を活用するため「地域未来投資促進法」及び「農業振興地域の整備に関する法律」の所定の手続きや用地測量等について、現在、着実に進めているという旨の説明がありました。

全員協議会報告

令和8年6月5日（金）、松茂町役場3階301委員会室において、全議員出席のもと町長はじめ町の担当課職員が出席し、まちづくりに関わる重要事項について、協議いたしました。

協議事項

- (1) 動産の買入れについて（申請書作成支援システム機器）
- (2) 動産の買入れについて（軽自動車タイプイレカー）
- (3) 松茂中学校体育館空調整備工事請負契約締結について
- (4) 松茂小学校体育館空調整備工事請負契約締結について
- (5) 喜来小学校体育館空調整備工事請負契約締結について
- (6) 令和8年度広島ポンプ場耐震・耐津波対策工事委託に関する協定の締結について
- (7) 笹木野ポンプ場No.2水中ポンプ更新工事委託に関する協定の締結について
- (8) その他



閉会中の継続調査報告（産業建設常任委員会）

産業建設委員長 鎌田 寛司

5月22日（金）、閉会中の継続調査の一環として、産業建設常任委員会を開催しました。当日は、建設課所管の令和7年度事業実施箇所及び令和8年度事業実施予定箇所のうち、主要な箇所を現地視察し、その後、担当課からの詳細説明を受けました。主な内容は次のとおりです。

●令和7年度事業実施状況

道路橋梁費の工事請負費では9件で7千982万4千円、修繕料は年間で924万9千円、委託料（道路設計・測量調査・側溝清掃・路肩の除草等）は5件で2千138万4千円、合計1億1千45万7千円の事業を実施。農業土木事業費の工事請負費では水路改修工事2件で3千558万9千円、委託料は1件で236万5千円の合計3千795万4千円の事業を実施しました。両方で総事業費1億4千841万1千円です。

●令和8年度事業実施箇所

道路橋梁費の工事請負費では橋梁の修繕や舗装工事、地元要望を受けて実施する工事など、8千800万円、修繕費は1千100万円、委託料は3千480万4千円の合計1億3千380万4千円を予定しています。農業土木事業費では工事請負費1千100万円、委託料300万円の合計1千400万円を予定し、合計1億4千780万4千円の事業を行う予定です。



令和7年度舗装箇所現場視察

徳島東部処分場視察

6月19日（金）第2回定例会閉会后、全議員出席のもと、富士町長らとともに徳島県東部処分場の視察に伺いました。この施設は、平成19年4月に供用開始し、今年で20年目を迎えます。

視察では、廃棄物の受入や埋立の進捗状況と廃棄物の埋立容量の変更（浚渫土砂の一部→産業廃棄物）を行う旨の説明があり、以下のような質疑応答が交わされました。

- ① 「安全な放流水を保つために水処理していると思うが、薬剤注入ポンプ等の機械が夜中に壊れたり、災害時なども含め、どのような対応をしているのか。」という質疑があり「システムによる24時間監視の委託をしており、水質が基準値を超えたり、機械が壊れたり、電気が止まったりした場合に、職員が水処理プラントを監視する業者に連絡が入ることとなっている。先日、雷による停電があった際に、職員に連絡が入り、対応したことがある。それ以外で水質や機器の故障で対応した例は、これまでにない。」という回答がありました。
- ② 「先日、貝毒の記事を読んだが、そういった影響はないのか。」という質疑があり「埋めている廃棄物も放流水も、厳しい検査を行い、全て大幅に基準値を下回っているため、これらが影響

していることは考えられない。」という回答がありました。

- ③ 「埋立容量の変更により、浚渫土砂を減らして産業廃棄物を増やすとなると、言葉だけでイメージが悪い。周辺環境の調査はしっかりやってもらえるのか。また産業廃棄物が増えている要因は？」という質疑があり「この処分場では、本来は最終処分場に必要のない項目の検査も行っており、またその基準値も全国トップクラスの基準で行うなど、周辺環境に配慮している。また、産業廃棄物が増えているということではなく、浚渫土砂の受け入れがほとんど無いため変更するもの。産業廃棄物も一般廃棄物も年々減ってきている。」という回答がありました。

今後も、松茂町内の安心安全のため、定期的に現地視察を実施し、良好な環境が保たれていることを確認してまいります。



屋上から処分場を見学

月見ヶ丘海水浴場 海開き式典

7月3日(金)、月見ヶ丘海水浴場の海開きに先立ち、安全祈願の神事が執り行われました。議会からは、佐藤議長が参列し、シーズン中の無事故を祈り、テープカットを行いました。



神事の様子



国際文化アカデミー 研修参加

5月14日・15日、滋賀県大津市にある全国市町村国際文化研修所（国際文化アカデミー）で、佐藤道昭議員と川端 順議員の2名が「社会保障・社会福祉～地域共生社会の実現に向けて～」という研修に参加しました。

研修参加前に事前課題を提出し、研修所では、2日間にわたり「地域共生社会の課題と展望」「人材不足時代の介護を支えるDXの可能性」「孤立を生まない地域づくり～身寄りのない高齢者支援と包括的体制～」 「包括的な支援体制の整備・重層的支援体制整備事業の今後の在り方」の4つのテーマの研修を受けた後、全国の市町村議員との意見交換が行われ、充実した2日間を終えました。

議員派遣

松茂町青少年非行防止 決起大会

7月15日(水)、松茂町総合会館で「松茂町青少年非行防止決起大会」が行われ、6月議会で可決した「議員派遣の件」に基づいて、議員が参加しました。

大会では、町内小中学校の代表の子どもたちの意見発表と、フリーアナウンサー：清水健氏の講演を聴き、参加者全員で大会宣言を行いました。



「SDGs 研修」に参加

7月14日(火)、町職員を対象に毎年行っている「SDGs 研修」に、山元尚武議員が参加しました。

今年7年目を迎えるこの研修には、これまでも議員が参加し、松茂町の目指すSDGsについて理解を深めています。





令和8年度町村議会議長・副議長研修会

令和8年5月26日、東京国際フォーラムにおいて、「令和8年度町村議会議長・副議長研修会」が開催され、佐藤道昭議長・米田利彦副議長が参加しました。

研修会は、全国の町村議会から議長・副議長が参加し、3つの講演と宮城県蔵王町による事例発表がなされました。

講演は、①「地方創生の先行き～地域未来戦略とともに～」一般財団法人地域活性化センター理事長 林崎 理氏、②「人口減少社会における外国人材の確保・育成の実践」東海大学教養学部人間環境学科教授 万城目正雄氏、③「男女共同参画で地域を元気に～人口減少社会を生き抜く方策～」京都女子大学学長 竹安栄子氏でした。

また事例発表は「女性模擬議会の取組～町制施行69年の空白を経て、女性議員の誕生・新しい風が吹く町へ～」と題して3名の宮城県蔵王町議会女性議員が登壇し、各議員から発表が行われました。

テーマは様々ですが、各地域のそれぞれの活性化や地方創生が、その町の未来を決めるという大きな視点を思わせる有意義な研修会でした。



編集後記

月見ヶ丘海水浴場がオープンして1カ月、今年も多くの方が海水浴を楽しんでくださっています。すでに訪れた方もいると思いますが、まだという方は、ぜひご家族やご友人とお越しください。

表紙の写真は、徳島東部処分場の視察状況です。海環境を守るために処分場職員の皆様が日々努力されていることを知ることができました。今後も、しっかり守っていただけたらよい議会としても関わっていききたいと思っています。

さて「議会だより」に、今回初めて4コマ漫画を掲載しました。硬いイメージのある議会活動を少しでも親しみやすく感じていただければ幸いです。(浩)

広報特別委員会

委員長	川端 順
副委員長	金森恵美子
委員	川田 修
委員	村田 茂
委員	鎌田 寛司
委員	尾野 浩士